

公益財団法人 日本サッカー協会
2018 年度 第 8 回理事会

決議事項

1	理事 2 名 推薦の件
	<p>以下の 2 名を理事として、9 月 8 日(土)に開催される臨時評議員会に付議したい。</p> <p>(1) 池田 洋二 (いけだ ようじ) /62 歳 現職：一般財団法人鳥取県サッカー協会 会長、公益財団法人日本サッカー協会 評議員 最終学歴：東京学芸大学 卒業 サッカー歴：東京学芸大学サッカー部、鳥取県リーグ、中国リーグ、 鳥取県立高等学校サッカー部 監督等 職歴：鳥取県内公立小学校・中学校・高等学校 / 教諭・副校長・校長、 一般財団法人鳥取県サッカー協会</p> <p>(2) 関塚 隆 (せきづか たかし) /57 歳 現職：公益財団法人日本サッカー協会 技術委員長 最終学歴：早稲田大学 卒業 サッカー歴：早稲田大学ア式蹴球部、本田技研サッカー部、 ロンドンオリンピック日本代表監督、川崎フロンターレ監督等 職歴：本田技研工業株式会社、公益財団法人日本サッカー協会等</p>
2	臨時評議員会開催の件
	<p>以下の通り、臨時評議員会を開催したい。</p> <p>1. 開催日時：9 月 8 日(土) 14:00～ 2. 会 場：日本サッカー協会 3. 議 題：(1) 評議員 16 名 選任の件 (2) 理事 2 名 選任の件 ① 池田 洋二 (いけだ ようじ) /一般財団法人鳥取県サッカー協会 会長 ② 関塚 隆 (せきづか たかし) /技術委員長 (3) 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程 改正の件</p>
3	平成 30 年 7 月豪雨 支援の件
	<p>6 月 28 日から 7 月 8 日までの総降水量が四国地方で 1800 ミリ、東海地方で 1200 ミリを超えるなど 7 月の月降水量平年値の 2~4 倍となる大雨となったところがあった。また、九州北部、四国、中国、近畿、東海、北海道地方の多くの観測地点で 24、48、72 時間降水量が観測史上最大となるなど、広い範囲における長時間の記録的な大雨となった。</p> <p>これらの影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者、行方不明者が多数となる甚大な災害となった。7 月 17 日現在の人的・物的被害状況は、死者 215 人 行方不明者 14 人 住家被害 (全壊) 408 棟 (半壊) 363 棟 床上浸水 13,670 棟 床下浸水 17,651 棟となっており、避難</p>

者数は4,890人となっている。

今回の豪雨で被災された地域の一刻も早い復旧を願い、以下の内容で支援を実施したい。

【参考】政府の動き

- ・ 全国で11府県61市37町4村に対して災害救助法の適用を決定
- ・ 9府県64市町村に対して被災者生活再建支援法の適用を決定
- ・ 特定非常災害の指定
- ・ 24日に大雨被害の激甚災害指定を閣議決定。指定は27日付

《支援内容》

(1) 義援金としての寄付

平成30年7月豪雨義援金として合計1,000万円を寄付する。

広島県・岡山県・愛媛県に対して各300万円、日本赤十字社に対して100万円を寄付する。

【参考】過去の支援

- ・ 熊本地震では、500万円を熊本地震義援金口座を通じ、熊本県へ寄付。
- ・ 2014年7月台風11号・台風12号・前線による豪雨(広島市他)では、広島市に対して200万円を義援金として寄付(死者数6名・住家被害全壊10棟・半壊10棟・床上浸水1,925棟・床下浸水10,353棟)

(2) 平成30年7月豪雨義援金口座を開設

被災地域を支援することを目的に広く寄付を募り、全額を日本赤十字社を通じて被災地に寄付する。JFAとしては、天皇杯 JFA 第98回全日本サッカー選手権大会4回戦会場やKIRIN CHALLENGE CUP(9月)等における募金活動を通じて集まった全額を本口座へ寄付する。

(3) その他支援

復興支援委員会にて、各被災地域の状況に応じて、必要性が高いと判断される支援について随時実施する。

(支援の例)

- ・ チャリティーオークション(SAMURAI BLUE、なでしこジャパン)の実施
- ・ 破損、紛失した備品(ゴール、ボール、ユニフォーム等)の提供
- ・ 都道府県サッカー協会が実施する事業・事務局業務への人的・財政的支援
- ・ 各自治体からの要請に基づいた「夢の教室」の実施
- ・ 登録チームが実施する被災地でのボランティア活動支援(交通費補助など)
- ・ その他

4 SAMURAI BLUE 日本代表 監督選任の件

2022 FIFA ワールドカップ カタールを目指す SAMURAI BLUE 日本代表監督を以下の通り選任したい。

監督： 森保 一（もりやす はじめ）

なお、森保氏は、東京 2020 オリンピック競技大会【第 32 回オリンピック競技大会 (2020/東京)】に出場する日本代表の監督として選任されており兼務とする。

【名前】	森保 一（もりやす はじめ）	
【生年月日】	1968 年 8 月 23 日	
【出身地】	長崎県	
【最終学歴】	長崎日本大学高等学校卒業	
【サッカー歴】	長崎日本大学高等学校 マツダサッカークラブ サンフレッチェ広島 京都パープルサンガ ベガルタ仙台	
	*1992 年～1996 年	日本代表 35 試合 1 得点
【指導歴】	2004 年～2007 年	サンフレッチェ広島強化部育成コーチ
	2005 年～2007 年	JFA ナショナルコーチングスタッフ U-19/U-20 日本代表 コーチ トレセンコーチ（中国地域担当）
	2007 年～2009 年	サンフレッチェ広島 コーチ
	2010 年～2011 年	アルビレックス新潟 コーチ
	2012 年～2017 年 7 月	サンフレッチェ広島 監督
	2017 年 11 月～	U-20 日本代表 監督
	2018 年	U-21 日本代表 監督
	2018 年	SAMURAI BLUE 日本代表コーチ
【資格】	2005 年	JFA S 級コーチライセンス

5 重要な使用人 選解任の件

現在空席になっている事務総長を、以下の通り選任したい。

事務総長は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 90 条（理事会の権限等）第 4 項第 3 号に規定する「重要な使用人」に該当するため、理事会において選任する。

・事務総長：湯川 和之（ゆかわ かずゆき）／代表チーム部長

事務総長を選任するため、事務総長代行職を廃止し職を解きたい。

- ・ 事務総長代行：福井 一也（ふくい かずや）

また、あわせて本年 8 月 31 日をもって事務局長職及び事務局次長職を廃止することとし職を解きたい。

- ・ 事務局長：福井 一也

6 事務局組織運営規則及び事案決裁規則 改正の件

(決議) 資料 1①②

掲題の規則を以下の通り改正したい。詳細は、別紙資料ご参照。

改正規則：① 事務局組織運営規則

② 事案決裁規則

改正概要：① 事務局組織運営規則

- ・ 部室数の明記の廃止

- ・ 一部職位（事務局長、事務局次長）の廃止

- ・ 別表の廃止

② 事案決裁規則

- ・ 一部職位（事務局長、事務局次長）の廃止

③ 施行日：事務局組織運営規則及び事案決裁規則共に、9 月 1 日施行